

なかさと

E-mail nakasatokouryusenta@net1.jway.ne.jp

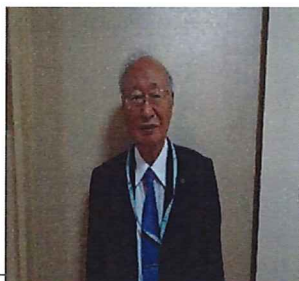
中里学区コミュニティ推進会
発行責任者 石川 諒一
編集事務局 後藤 寛明
TEL 0294-70-8005

中里学区人口 R7.5.1 現在
世帯数 410
総人口 897
男 421 女 479

新型コロナウイルス感染症もどんどん減少し、行動に制限がなくなり4年振りという言葉と共に、祭りや地域行事や旅行などどんどんコロナ前の状態に復活し外国人観光客や国内旅行者もコロナ前を超えてきました。経済も株価は33年ぶりに高騰し賃上げもかなりの高水準を記録しましたが、ガソリンや物価高騰が依然として続いており特にコメ価格が前年の二倍になるなど生活を直撃しています。災害は忘れたころにやってくるということわざのとおり昨年、日本を襲った異常気象による自然災害の被害は甚大で、つい最近も奈良県のグラウンドで中高生6名が季節外れの落雷被害にあいました。日立市でも一昨年9月8日には台風を伴う線状降水帯に見舞われ、市役所はじめ市内各所で大洪水に襲われ激甚災害に指定され現在も復旧活動が継続されています。中里地域は幸いにも線状降水帯の位置から外れていたのであり大きな災害にならずに済みましたが市内と同様の雨量があれば土砂災害が心配です。中里学区に於いては、全世帯、全住民の皆様がコロナ感染防止対策を守って頂いたお陰で、クラスター感染もでておりません。そのような背景を受けて、交流センターも年間を通して開館することができ、各サークル活動、健康体操、サロン、おもちゃライブラリー、長寿大学がコロナ前同様に実施することができました。また、文化祭・市役所職員研修・再発見ウォーク・中里市民ゴルフ・青少年育成部事業を実施

令和6年度総括並びに令和7年度活動方針

令和7年4月26日(土)において、日立市副市長梶山隆範様、中里小中学校教頭荒川英俊様、中里郵便局長関根裕幸様、東河内駐在所田山敦様、多数のご臨席を賜り開催いたしました。総会では、石川会長より令和6年度の総括及び令和7年度の基本方針が示されました。



令和7年度コミュニティ総会を実施

本総会の開催に当たり多くの来賓の方々から熱いお言葉を頂戴いたしましたのでご紹介します。日立市副市長梶山隆範様より中里学区の皆様には日頃より地域活性化に対し献身的にご尽力していただき深く御礼を申し上げますとお言葉を承りました。また昨年中里学区はオータムフェスティバル開催という新しい試みなど明るい話題が多く、市としてもコミュニティ活動をますます推進するために街のコインを導入し利用者は増加の一途をたどっていることとしてこれからも市とコミュニティがお互い支えあいながら活性化に向けて協力し合えていければ本当に素晴らしいことでした。中里小中学校教頭、荒川英俊様からは今年は66名の児童・生徒と職員27名での新たな門出を迎え、日頃から地域の皆様の支えには大きく感謝し、今後とも学校と地域の連携を深めていくことが大切だとのことでした。中里郵便局長、関根裕幸様からは昨年、配達業務が町屋局にまともりましたが地域の皆様のご理解・ご協力の下、スムーズに移行できたこと。そして窓口業務は中里局でこれまで通りにやっているので変わらずご利用下さいとのことでした。東河内駐在所、田山敦様からは昨年中里学区は大きな事件・事故もなく県内でも非常に治安が良い地域であること今後も巻き込まれないように近所との結びつきが大事で防犯にご協力していただければありがたいとのことでした。

総会の様子・風景

・公益財団法人日立市スポーツ協会
功労賞 五島 勝雄様
地域のスポーツ振興に貢献



・中里学区コミュニティ推進会
感謝状 會澤 修 様
長寿部部长として長年、高齢者のため貢献
・中里学区コミュニティ推進会
感謝状 皆川 汪 様
長年広報活動を通じ地域の知名度上昇に貢献
・総務省総務大臣賞
功労賞 石川 諒一 様
地域社会の維持及び形成に貢献
・社会福祉法人茨城県社会福祉協議会
功労賞 石川 諒一 様
福祉事業の推進及び増進に貢献
・茨城県日立警察署
感謝状 會澤 正美 様
日立警察署の運営に貢献

式に先立ち令和6年度表彰状受賞者が発表されました



学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
人数	5	9	7	6	4	8	4	11	12	66

令和7年度 中里小中学校児童・生徒数

令和7年4月8日(火)、中里小中学校として4年目の入学式が執り行われました。今年は5名の新一年生を迎え全校生徒66名、職員27名での新たな門出をスタート。児童・生徒の皆様、並びに保護者の皆様。ご入学、ご進級おめでとうございます。また新任の先生方これからよろしくお願い致します。自分のよさ 発見・発揮・発信
知る・わかる・できる
皆様、是非ともこの自然環境豊かな校舎で一生の思い出を作り、個性を存分に磨いてください。

中里小中学校新入生を迎えました

- することができました。小中学生は80名近くになり、体育祭文化祭が学校関係者だけで運営できるようになり、地域の体育祭・文化祭・ふれあい祭りを1日にまとめて「オータムフェスティバル」として盛大に開催することができました。中里学区は中里の独自性や希少価値を逆利用した活動が大切で、高齢化対応の1つである公共交通の運行範囲を常陸太田市方面へのさらなる拡大を根気強く要望していきます。また各観光名所を中心に学区外から人を呼び込む賑わいづくりも大切です。東日本大震災時の避難所や復旧活動を見ても地域住民の協力、助け合いの「絆」がいかに大切であるかが分かりますが、中里学区にはその「絆」がずっと以前から築かれており、消防分団、駐在所のパトロール、水辺空間の除草作業、推進員様、ボランティアの方、各部役員様方の仕事の合間をぬっての活動など厳しい環境下でそれぞれの立場で精一杯頑張っていたいただき、ご協力していただきました。それに加えて、下記に示す新しい活動や従来事業の充実を図って頂き、皆様のご努力に感謝申し上げます。
- ① 日立市関係のお知らせ
 - ② 敬老高齢者元気事業応援
 - ③ JA移動金融店舗車営業日変更について
 - ④ 防災・防犯について
 - ⑤ 里川水辺空間について
 - ⑥ ラジオ体操について
 - ⑦ オータムフェスティバル
 - ⑧ 中里市民ゴルフ
 - ⑨ 公共交通について
 - ⑩ 社会福祉関係情報
 - ⑪ その他関連情報
 - ⑫ 昨年ご活躍された方々

新規移住者インタビュー

昨年より、中里地区に新しく移住してきた方が3名もいます。今回は、その3人を紹介いたします。

① 赤羽 悠斗さん

出身地…神奈川県

前職…IT関係 広島県に勤務↓その後茨城県の地域おこし協力隊
趣味…アウトドア、筋トレ、ゴルフ、ウクレレ

中里に移住した理由…元々旅行が好き地方を60都市巡り、日立市もその一つ。海もきれいで自然に魅了され茨城県の地域おこし協力隊に応募し、日立市に定住、茂宮でのアボカド栽培を始める。日立市をめぐる中で中山間地である中里を知り魅了されたまた農業と並行し林業もやりたいため中里へ移住決断茂宮のアボカド畑も継続しつつ中里の山々の適切な管理を手伝い、環境保全に貢献し山に関わる人を増やしていきたい移住者を呼び込みたい。

中里の皆様へのメッセージ…まだ中里にきたばかりですが、いつも優しく接していただきありがとうございます。これからは地域に溶け込み、地域の方と共に中里の活性化に貢献できるように頑張っていきます。自分にできることがあればいつでもお声がけしてください。後、ゴルフも好きなのでよろしければお誘いください。

② 神田 駿介さん

出身地…北海道

前職…営業職↓その後茨城県の地域おこし協力隊
趣味…スポーツ、登山、読書、映画鑑賞、工作

中里に移住した理由…元々都会が合わないと感じ、赤羽さんと一緒に様々な田舎を巡り同じく地域おこし協力隊として日立市に定住。茂宮にてアボカド栽培を赤羽さんと共同で行う、日立市を巡るうち中里を知り元々山が好きであったこともあり移住を決意、自伐採型林業を行いビジネスとして成立させたい。

せSNSの宣伝やイベントを通じて中里に移住する人を増やしたい。中里の皆様へのメッセージ…中里の人達はいつも優しくて気さくで非常に居心地がよく感謝しています。だからこそ恩返しとして中里を盛り上げていきたいです。山林の管理のお願い受け付けております。

③ 根本 智広さん

出身地…茨城県

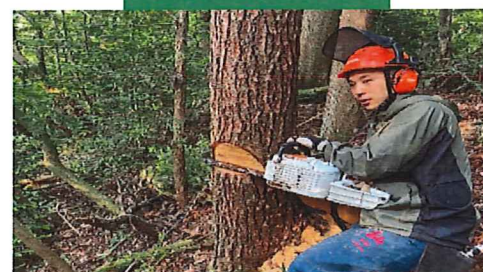
前職…茨城県職員
趣味…旅行、神社仏閣巡り

中里に移住した理由…母方の実家が旧里美村にあり幼少の頃から中里の存在を知っており馴染みがあった。フルーツ塾の一期生として募集、採用され一年間フルーツ栽培を学んだ。果樹栽培を断絶することなく次の世代に伝え繋ぎたいという気持ちで中里に移住を決意。

中里の皆様へのメッセージ…現在、下深茨地区でリンゴとブドウを栽培しています。新参者ですがよろしくお願ひいたします。お見かけしたら気軽にお声をかけてください。



赤羽 悠斗さん



神田 駿介さん



根本 智広さん

乗り合いタクシー「なかさと号」が茨城新聞で紹介されました

茨城新聞2025年1月29日号において中里地区のふれあいタクシーが紹介されました。記事ではなかさと号のニーズ年々増えいき、高齢者の通院などに利用され中里地区の重要な交通インフラに成長していることや今後続く人口減による利用者確保が課題になっていることで日立市中心部や常陸太田市内の施設や商業施設に運行し必要性を高めていることなどが紹介されました。2009年に本格運行を始めて以来、中里の人々にはすっかり浸透したと思います。今後益々、高齢化が進むにつれ必然的に利用者は増加していき地域住民の重要な足として支える側支えられる側双方の理解が進むことがタクシーの存続や発展に大きく寄与することでしょう。2009年以来、地域の交通インフラを支えてきたNPO「助け合いなかさと」のメンバーの皆様の日々の貢献に頭の下がる思いです。現在使用していない人も地域の未来について再考するきっかけになればと思います。



新編集責任者の挨拶

前回号でもお伝えした通り今回号から16年間広報発行の責任者として活躍された皆川 汪 氏に代わりまして私、後藤 寛明(東河内町在住)が広報発行責任者として僭越ながら務めさせていただきます。諸先輩方のご指導、ご鞭撻をいただきながら228号にもわたる重みを噛みしめさらなる発展を支えていければと思います。

2025年度に関する個人的な所感

2025年、世界は新しい戦前の真ただ中にいます。アメリカではトランプ大統領が社会の分断を進め、敵か味方か、白か黒かという単調な二元論の物差しで冷静な議論を封じ世界を混乱させ、ウクライナやパレスチナでは未だに銃声や爆撃音は止まず、欧州では極右勢力の台頭により移民・宗教・文化による社会の断裂やかつて禁忌とされた思想への回帰が目立ち始めています。中国も静かに覇権主義を拡大、直接的な軍事侵攻はなくとも巧妙に周辺地域への圧力や進出を強めています。日本は長きに渡る景気低迷、地方衰退に歯止めがからず、政府は成果を誇張しますが実態は全く反映されず、このまま無為無策が続く日本という国がもしかしたら先進国ではなくなる日もそんなに遠くないのかもしれないかもしれません。

嫌なニュースばかり流れる昨今ですが個人的にうれしいニュースを一つ。90年代イギリス・マンチェスターで誕生したロックバンド、オアシスが19年ぶりに再結成。そして日本でも来日公演を実施するという事。筆者が高校時代、夢中になったバンドの一つ。本国では「ビートルズ以来の衝撃」と言われデビューし成功をおさめ、CDアルバムセールスは全世界7500万枚以上を記録。物凄く個人的な話になってしまいましたが、ユーチューブなどネットで聴けたり、和訳なども出ているので興味を持たれた方は是非検索して聴いてみてください。